

渋川山車祭り	西暦	元号	渋川市史	時事
渋川義頭八幡宮創建（伝）	1108 1249-55	文治5 建長年間	渋河五郎兼保、奥州征伐で源頼朝に供奉	応仁の乱 桶狭間の戦い
	1394	応永元	渋川談議所（真光寺）法華玄義書写	
	1427	応永34	長尾景仲、初代白井城主に。 渋川八幡宮を崇敬し、参道に杉並木	
埴田大蔵、八幡宮社殿修復	1504-20	永正年間		
	1509	永正6	関東管領上杉氏、白井城攻略	
	1572	元亀3	武田信玄、白井城攻略。元宿炎上、真光寺火災	
	1573	天正元	上杉謙信、白井城攻略	
	1590	天正18	秀吉小田原征伐にて、 前田利家・上杉景勝、白井城攻略 白井藩2万石立藩、初代藩主本多康重 井伊直政、箕輪城に入城。渋川村も支配下に	
入沢新左門、現在の八幡宮本殿建立	1602	慶長7		
	1613	慶長18	上之町・中之町・下之町、3町町割	関ヶ原の戦い 享保の改革
	1631	寛永7	渋川村六斎市始まる	
	1649	慶案2	新町町割	
安中藩主水野備後守元綱、八坂神社創建	1654	承応3		
安中藩主水野備後守元綱、検地 中之町に御旅所、神輿渡御	1663	寛文3		
大洪水により八坂神社流出。上之町北裏に移設	1686	貞享3	平沢川大洪水	
	1691	元禄4	渋川村の3分の2が旗本小笠原氏の知行地となる	
八坂神社本殿再建	1737	元文2		
	1739	元文4	渋川村、北裏平助出火、下之町・新町まで消失	
	1756	宝暦6	渋川村大火	
八坂神社祇園祭始まる（市誌2-市神）	1772-81	安永年間		寛政の改革
領主小笠原信興、 八坂神社で国家鎮護・五穀豊穡を祈願	1783	天明3	天明の浅間焼け。	
渋川村祭礼出入済口証文（梅澤家文書）	1788	天明8		
如来寺回状（入沢家蔵） 「6/16の本町の祇園があった。木戸上3町の祭礼を督促」 如来寺年中行事（真光寺文書） 「踊り終り候はば、八幡宮の諸道具並びに栈敷等まで」 真光寺年中行事記 「八幡宮の祭礼にて、ねり物等諸町より出る」	1793	寛政5		
八幡祭礼の大芝居、鬼五郎事件	1812	文化9		
	1827	文政10	中村早尾神社祭礼絵馬	
渋川村祭礼議定（高橋家文書） 元宿、裏宿、川原町、上之町、中之町、天王下、 下之町、南横町、北横町、新町、寄居町の連署（市誌5）	1832	天保3		
天王下に神幟	1833	天保4		
屋台4、万灯3の祭礼図（外丸家文書）	1839	天保10		

八幡上り 元宿、裏宿、川原町、上之町、中之町、天王下 下之町、南横町、北横町、新町、寄居町獅子組	1849	嘉永3		
晴雨日用万記（金井岸家文書） 「6/21 渋川の踊り雨天延べ。8/15 渋川八幡に踊りあり 渋川村369軒」	1855	安政2		
大火により八坂神社焼失	1866	慶応2	上之町六軒町大火	薩長同盟
	1868	慶応4	神仏判然令 八坂神社の祀神牛頭天王は素戔鳴命となる	王政復古の大号令
渋川村神事例祭執行願い 6/17祇園祭、8/15八幡例大祭 大火による中断後の再開願い（市誌5）	1869	明治2		
	1870	明治3	江戸で山王祭・神田祭復活	
	1871	明治4	郷社定則・大小神社氏子調規則祭政一致を推進	
八幡宮・八坂様合同の祭礼 11台の波万灯屋台（祭りの定着化）	1874	明治7		
八坂神社再建	1877	明治10		西南戦争
9/1・2 祭典	1879	明治12		
（明治13～27年、毎年開催）	}	}		日清戦争
上之町、鴻巣より山車購入 （明治16年作、渋川で最初の二重鉦型山車） 9/1・2 祭典	1895	明治28		
9/21・22 山車出動せず祭礼のみ	1896	明治29		
9/21・22 祭典	1897	明治30		
9/21・22 山車出動せず祭礼のみ （明治32～42年、毎年開催）	1898	明治31		
明治36年、栄町（坂下町）初参加の記録あり	}	}	明治30年代、栄町（坂下町）が寄居町より分町 明治38年、栄町から坂下町に改名 明治42年、長塚町が南横町より分町	日露戦争
明治42年、長塚町初参加の記録あり				
渋川～伊香保電車開通のため、大型屋台運行不能に。 南横町（南町）、山車を沼田上之町に売却 （昭和21年まで不参加） 9/15・16 祭典	1910	明治43		
9/15・16 祭典	1911	明治44		
（明治天皇崩御のため祭典なし）	1912	明治45		
寄居町、鴻巣より山車購入（明治34年作）				
新町、鴻巣より山車購入（明治34年作）	1913	大正2		
坂下町、高崎赤坂町より山車購入（明治33年作/町田又平） 9/15・16 祭典				
中之町、高崎田町より山車購入				
川原町、神田より山車購入 （向拝柱の龍は昭和20年加藤虎三）	1914	大正3		第一次世界大戦
裏宿、日本橋通三丁目より山車購入 （製作者・百雲正神田だし鉄こと山本鉄之 人形は大正4年鴻巣より購入/向拝柱の龍は藤井隆） 9/15・16 祭典				

下之町、鴻巣より山車購入（明治34年作） 9/15・16 祭典	1915	大正4	
10/3・4 祭典	1916	大正5	
長塚町、高崎市鞆町より山車購入 （祭典なし）	1917	大正6	
（祭典なし）	1918	大正7	シベリア出兵・米騒動
元宿（元町）、高崎柳川町と同型にて山車製作 9/1～3 祭典	1919	大正8	
（祭典なし）	1920	大正9	
7/1 上越鉄道開通祝賀式祭典に山車出動	1921	大正10	
9/1・2 祭典	1922	大正11	辰巳町が長塚町より分町
（祭典なし）	1923	大正12	関東大震災
（関東大震災復興ならず祭典なし）	1924	大正13	
9/1・2 祭典	1925	大正14	
9/1・2 祭典	1926	大正15	
（祭典なし）	1927	昭和2	
9/5・6 祭典 11/10 昭和天皇即位大禮奉祝	1928	昭和3	
辰巳町、初参加の記録あり			
（祭典なし）	1929	昭和4	昭和恐慌
（昭和恐慌により祭典なし）	1930	昭和5	
9/2・3 祭典	1931	昭和6	満州事変
（祭典なし）	1932	昭和7	
9/3・4 祭典	1933	昭和8	
（祭典なし）	1934	昭和9	
9/5・6 祭典	1935	昭和10	
9/5・6 祭典	1936	昭和11	
（祭典なし）	1937	昭和12	支那事変
（祭典なし）	1938	昭和13	
（祭典なし）	1939	昭和14	
11/11・12 皇紀2600年奉祝祭典	1940	昭和15	
（大東亜戦争勃発により1941～45まで中断、祭典なし）	}	}	大東亜戦争
9/5・6 戦後第1回の祭礼 渋川町復興祭として実施（11台）			
南横町（南町）、山車借用にて復帰の記録あり	1946	昭和21	
並木町、初参加の記録あり			
9/15・16 祭典当日、キャスリン台風で中止	1947	昭和22	
8/24八幡宮祭礼 8/25八坂神社祭礼	1948	昭和23	
下郷、初参加の記録あり			
（祭典なし）	1949	昭和24	
7/15・16 北群馬文郡祝賀祭典行事	1950	昭和25	朝鮮戦争
（祭典なし）	1951	昭和26	サンフランシスコ講和条約
9/2八幡宮祭典 9/3八坂神社祭	1952	昭和27	
（祭典なし）	1953	昭和28	
9/1・2 渋川市政施行記念祝賀行事として山車運行 東町、初参加の記録あり	1954	昭和29	渋川市政施行 マリリン・モンロー来日
9/1・2 祭典	1955	昭和30	元宿→元町、北横町→本町に改名
8/3・4 祭典	1956	昭和31	国際連合加入

並木町、山車購入（昭和28年作/荒川政平・彫師 加藤虎三） （祭典なし）	1957	昭和32		コカコーラ日本発売
南町、山車製作（荒川和夫・彫師 加藤虎三） （祭典なし）	1958	昭和33		東京タワー完成
9/5 鎮守八幡宮祭 山車15台渋川工業高校校庭に集結。 9/6 八坂神社祭礼 神輿渡御	1959	昭和34		伊勢湾台風
（交通事情により昭和35～昭和42まで中断、祭典なし）	}	}		東京五輪
10/10～12 「渋川まつり」として煙火大会を催す。 （山車運行は無し）	1968	昭和43		3億円事件
「渋川まつり」として再開。13町参加。 8/23・24 祭典（以降、8月中旬の土日開催となる）	1969	昭和44		安田講堂事件
8/22・23 祭典	1970	昭和45	伊香保道と伊香保バイパスの接続により、 市街地の交通規制が可能に	よど号ハイジャック
辰巳町、山車製作（荒川和夫・彫師 高橋幹治） 8/20・21 祭典	1971	昭和46		沖縄返還協定
8/19・20 祭典	1972	昭和47		あさま山荘事件
（祭典なし、以後隔年で開催）	1973	昭和48		オイルショック
熊野町、新宿花園町より山車購入改修、初参加 8/18～21 市政20周年記念行事・渋川まつり	1974	昭和49	歩行者天国開始	長嶋茂雄引退
上郷、山車製作（町内による手作り、昭和53年改造） 8/21・22 祭典	1976	昭和51		ロッキード事件
上郷、初参加 祭典	1978	昭和53		成田空港開港
下郷、山車製作（渡辺司） 祭典	1980	昭和55		山口百恵引退
祭典	1982	昭和57		ホテルニュージャパン火災
祭典	1984	昭和59	第1回へそ祭り・へそのまち宣言	グリコ森永事件
入澤町、山車製作（杉田大吉）初参加 祭典	1986	昭和61		ビートたけし フライデー事件
東町、山車制作（入内島秀男） 祭典	1988	昭和63		東京ドーム開業
祭典	1990	平成2		バブル崩壊
祭典	1992	平成4		尾崎豊急死
祭典	1994	平成6		松本サリン事件
祭典	1996	平成8		ペルー大使館占拠
八幡のぼり復活 祭典	1998	平成10		長野冬季五輪
金井南町、初参加 （平成12年 町内所有の屋台にて 平成14～22年 子持白井中之町の山車を借用） 祭典	2000	平成12		小渕首相急死
祭典	2002	平成14		拉致被害者5名帰国
8/15（日）・16（月） 祭典	2004	平成16		新潟中越地震
8/15（火）・16（水） 祭典	2006	平成18	合併で新渋川市へ・第2庁舎利用開始	ライブドア事件
8/16・17 祭典（以後土日開催）	2008	平成20		リーマンショック
八坂神社神輿渡御復活 8/16・17 祭典	2010	平成22		尖閣漁船衝突事件
金井南町、山車製作（平成23年） 8/18・19 祭典	2012	平成24		スカイツリー開業

	8/16・17	祭典	2014	平成26		STAP細胞事件
	8/13・14	祭典	2016	平成28		ポケモンGOブーム
	8/11・12	祭典	2018	平成30		西日本豪雨
		祭典	2020	令和2		第二回東京五輪

出典：渋川の祇園と郷土芸能と祭礼行事記 宮川俊雄 昭和52年刊
令和2年作成